

2022年9月27日

報道関係各位

一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)

EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」 第5回 PASE AWARD 受賞団体決定のお知らせ

一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan) は、患者団体支援プログラム「PASE」の一環として、日本の患者さんの権利を擁護する活動の発展に特に寄与する団体に助成金を提供しています。5回目となる本年は、「ニューノーマル下で患者さんがよりよい治療・生活を実現するための患者団体活動」を応募テーマとし、総額 110 万円の助成を行います。EFPIA Japan は、本年 5 月より患者団体による活動計画の募集を開始し、7 月 8 日までに全 11 団体からの応募をいただきました。本年の大賞、及び健闘賞の受賞団体は以下の通りです。

第5回 PASE AWARD

受賞名	受賞団体	応募内容の概要	助成金
大賞	認定特定非営利活動法人 希望の会	胃がんに関する啓発冊子作成事業	50 万円
健闘賞	特定非営利活動法人 がんフォーラム山梨	「インターネットラジオ(I.R)」で当事者や家族たちの想いを受け止め、共感する仕組み作り	15 万円
健闘賞	一般社団法人 てくてくぴあねっと	ニューノーマルな闘病と子育てに関する冊子作成事業	15 万円
健闘賞	特定非営利活動法人 凸凹ライフデザイン	「発達障害者と周囲のコミュニケーションのすれ違い」に関する事例の分析と結果の活用	15 万円
健闘賞	特定非営利活動法人 頭頸部がん患者友の会	アンケート調査の実施と、他の頭頸部がん患者会と連携し、患者さんと医療従事者双方が参画するシンポジウムの開催	15 万円

EFPIA Japan 会長の岩屋 孝彦は次のように述べています。「第 5 回 PASE AWARD に応募いただいた全ての患者団体に御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大から 2 年余りが経ち、患者団体の活動は多くの制約を受けながらも、歩みを止めることなく前進を続けています。そのような中、今回いただいた全ての提案は大変意義のあるものであり、大賞決定は非常に難しい判断となりました。患者さん中心のヘルスケア環境を整備していくためには、患者団体を含む全ての関係者が社会に対して声を上げていくことが必要です。EFPIA Japan は、日本の患者さんが最新の医療を受けることが出来るように、今後もこうした患者団体の活動を支援していきます」。

EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」について

「PASE（Patient Advocacy Support by EFPIA Japan）」は、EFPIA Japan の患者中心志向を具現化することを目的として 2017 年に創設されました。PASE は日本の患者団体活動の活性化を促し、患者さんの声が適切に医療制度に反映されることで、患者さんを取り巻く医療環境がより良いものに発展していくことを支援していきます。PASE の一環として、EFPIA Japan は、PASE AWARD を創設し、患者の権利を擁護する活動の発展に寄与する団体に対し、今年は総額 110 万円の助成金を拠出しています。

第 5 回 PASE AWARD について

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが始まってからすでに 2 年余りが経ち、私たちの生活も様々な変化が余儀なくされています。そのような中、患者団体の活動や、一人ひとりの患者さんにおいても、「ニューノーマル」と呼ばれる新たな生活様式への対応が求められるようになってきています。第 5 回となる本年の PASE AWARD は、この新しい生活様式を取り入れながら、新型コロナウイルス感染症を予防しつつ、適切な診断・治療を受け、疾患を適切にコントロールするために必要とされる患者団体ならではの活動計画や、ニューノーマル下における患者さんの声を反映した医療政策の実現に向けた活動案を公募し、「患者団体として明確な目的を持ち、目標（成果指標）を明確にしていること」、「過去の活動において目的達成に向けた具体的な成果を示していること」、「助成金を用いる活動の具体的な実施計画を持っていること（助成金の利用方法を含む）」、「助成金を用いた活動の結果の周知等に協力できること（EFPIA Japan ウェブサイト掲載の許可、団体自身のウェブサイト等での告知および報告）」の 4 つの評価項目に基づき選考を行ないました。第 5 回 PASE 大賞に選出された 1 団体には、EFPIA Japan より 50 万円の助成金が提供されるほか、本年 10 月 6 日に予定される第 5 回 PASE AWARD 授与式に出席いただきます。また、健闘賞に選出された 4 団体については、15 万円の助成金が授与されます。第 5 回 PASE Award 授与式へ参加ご希望の場合は、9 月 15 日発出の「EFPIA Day 2022 特別記者会見」案内状をご参照ください。

第 5 回 PASE 最終選考委員

- 中山 健夫先生（京都大学医学部 健康情報学教授）
- 岩屋 孝彦 EFPIA Japan 会長（サノフィ株式会社）
- レオ・リー EFPIA Japan 副会長（ノバルティス ファーマ株式会社）
- ポール・リレット EFPIA Japan 理事（グラクソ・スミスクライン株式会社）
- 松村 佳奈 EFPIA Japan ガバナンス・法務委員会 委員長（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）

欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）について

2002 年 4 月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 23 社が加盟しています。2021 年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約 26%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献すること”です。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

欧州製薬団体連合会 EFPIA (The European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations) について

EFPIA は、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の 37 の業界団体、欧州で活動する 38 の大手製薬企業、多数の中小企業 (SME) の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。

詳細は下記をご参照ください。

<http://efpia.jp/> (EFPIA Japan)

<http://www.efpia.eu> (EFPIA)

お問い合わせ先 :

藤田 均

EFPIA Japan 広報委員会 PASE 担当

〒105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1

虎ノ門ヒルズ森タワー

ノバルティス ファーマ株式会社

TEL: 090-9837-4326

Mail: hitoshi.fujita@novartis.com

酒井 尚美

EFPIA Japan 患者支援委員会 PASE 担当

EFPIA Japan

Tokyo Opera City Tower, 3-20-2, Nishi Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan